

Hospital 病院クローズアップ

国立病院機構

北海道がんセンター

最新機器の設置や治験、手術ロボットの導入など
がん治療の最前線を目指して邁進していく

平成21年2月、当院は都道府県がん診療連携拠点病院に指定され、北海道内のがん診療の中核を担う病院になりました。がんに関するほとんどの診療科が揃っていて、ゲノム医療にも力を入れています。

特徴としては5人の歯科医が常勤する歯科口腔外科センターがあり、舌や肉肉の手術を、耳鼻咽喉科や形成外科と一緒に、かなりの症例数を行っていることです。通常は歯科医と耳鼻科が連携せず、同門の歯科口腔外科に送るルートが一般的ですから、手術数が多くなるのは当然と言えます。その他、乳腺外科、泌尿器科、婦人科に強く、症例数も多いです。北海道内でもナンバー3に入っており、中でも婦人科の卵巣がんは全国でもナンバー5に入る症例数を誇っています。

最近では、がん患者が高齢化し、心疾患や代謝系の疾患との合併が増えてきました。そこで循環器にも力を入れるべく、透視装置などを導入し、循環器科の医師も増員しました。将来的には人員をさらに増やし、心不全から心カテまで全部対応できるがんセンターに育てたいと思っています。

また、当院では手術支援ロボット「ダヴィンチ」を導入しています。さまざまな診療科が内視鏡に懸念に取り組んできたという流れがあり、これからはロボットの時代だから、がんセンターにも積極的に導入すべきだと。内視鏡手術にシンパシーのある医師も多く、新しい機器に挑戦していかないと若い

外科医のモチベーションも上がらないですね。ダヴィンチを扱うには資格が必要です。研修認定施設の証明書取得を目指す人が増えてきて、1年くらい前から若手医師が来るようになりました。当院では週に3日くらい手術ができますので、そこが若い医師にとっては魅力なのではないかと思っています。

今後の当院の課題は、何とんでも病棟の建て替え、そして新病院のシステム構築です。新しい病院では緩和ケア病室26床、ICU病室4床を設けますが、8室に増える手術室も新しく快適になり、ロボット専門室や内視鏡が操作しやすい部屋をつくりますので、手術部門も充実すると思っています。化学療法に関しては、外来化学療法室を新しく設け、ベッド数30台ほどで運営する予定です。病院全体のシステムとしては、入院時にすべてを一元的に管理できるセンターをつくりたいと考えています。それが今後の病院運営の大きな柱になるでしょう。

若手医師へのアドバイスですが、専門医制度が導入され、最近はずいぶん資格を取る傾向にあります。しかし、私の経験からいうと基礎研究をする時間をしっかり取ったほうが、将来、絶対に役立つと思います。若い頃は焦らずに基礎医学をしっかり勉強してください。それからベーシックな専門医を取得し、その後、自分の専門性を30代から考えていき、40歳ぐらいで完成していくという道が、一番スマートで、医師として正道なのではないかと思えます。



手術室



リニアック



検査科



札幌市時計台

北海道がんセンターのある街

異国情緒あふれる建造物と、雄大な自然が迎えてくれる街

札幌市は日本で最も北にある政令指定都市。人口数は全国で4番目だ。夏は気温が高くなる日も多いが、梅雨がなく過ごしやすい。言わずと知れた観光地で、雄大な自然を堪能できる。「札幌市時計台」に始まり、赤レンガの愛称で親しまれる「北海道庁旧本庁舎」、中島公園内にある「豊平館」、北海道初の図書館をリノベーションした「北菓楼札幌本店」など、写真映えする建造物を訪ねて歩くのもおすすめだ。また、周辺は春には桜やライラック、秋にはイチョウやポプラ並木などがあり、のんびり散歩するのに良い。

北海道最大の歓楽街、すすきのに隣接する「中

島公園」は都会のオアシス。公園内の「豊平館」は、明治から大正にかけて洋風ホテルとして迎賓館・公会堂の役割を担ったそうだ。歴史を感じる重厚な装飾品、敷き詰められた赤いじゅうたんなど、素敵な空間をゆっくりと楽しみたい。

北海道開拓時代の雰囲気を満喫できる施設、「北海道開拓の村」は敷地内に「市街地群」「漁村群」「農村群」「山村群」の4つのエリアと52個の建物があり、歴史を感じることができる。「開拓の村食堂」では、名物の「いもち」のほか「屯田兵定食」など、開拓の村でしか味わえない料理もあるので、ここへ来たならば是非味わってみては。



院長PROFILE

加藤 秀則（かとう・ひでのり）
1983年北海道大学医学部卒業。
2017年8月国立病院機構北海道がんセンター院長に就任。
日本産科婦人科学会専門医、日本婦人科腫瘍学会婦人科腫瘍専門医ほか、北海道大学客員教授を務める。

北海道がんセンター DATA

■ 所在地

北海道札幌市白石区菊水4条2丁目3番54号
http://www.sapp-cc.org

■ 病床数

430床

■ 診療科目

循環器内科/呼吸器内科/消化器内科/血液内科/精神科/緩和ケア内科/感染症内科/消化器外科/乳腺外科/腫瘍整形外科/形成外科/脳神経外科/呼吸器外科/心臓血管外科/皮膚科/泌尿器科/婦人科/眼科/頭頸部外科/放射線診断科/放射線治療科/麻酔科/病理診断科/臨床検査科/リハビリテーション科/歯科口腔外科

■ 研修の特色

当院は協力型の研修体制を取っています。症例数が非常に多いので、サブスペシャリティや外科専門医の取得後、乳腺や婦人科の専門医を目指したい方、あるいは基礎的な専門医を取得した後、がんの専門医になりたい方などには向いているでしょう。柔軟な研修体制で、希望に応じてかなり勉強できます。学会参加の費用は病院側が負担し、資格申請の際も補助があります。

